

(第7号様式の2)

事業報告書

(※必要に応じて枠を広げてご記入ください。)

1 事業名	ゆいまーる事業「生活困窮者への食料品無料配布及び高齢者の居場所（憩いの場）提供事業」
2 事業実施期間	令和3年7月～令和3年12月
3 事業目的	<p>【事業を行うことにより解決された課題】</p> <p>沖縄県の貧困率は厳しい状態にあります。誰かが支援の手を差し伸べる事ができる事で、市民は元気になります。</p> <p>「食べる事は生きる事」少ない量でも、毎週食する事が出来れば、生きる希望が湧きます。</p> <p>サロンに来る事で、人と人の繋がりもできます。孤独からの開放にもなります。</p> <p>行政との横の繋がりを持つ事で、困っている人の力になります。</p>
4 公益性	<p>【市民や地域への社会貢献度について】</p> <ul style="list-style-type: none">○「助けて」と言えない人に寄り添う事で、安心を提供○「食べる事は生きる事」食べていけると、市民が元気になる○サロンに来る事で「孤立から孤独にならないように」独居世帯への支援○地域の商店で、食料品購入する事で売上の支援になる

<p>5 事業内容 *具体的に記入してください。</p>	<p>①実施場所 那覇市牧志公園内</p> <p>② 対象者 那覇市民 (外国人含む)</p> <p>③ 内容</p> <p>○高齢者の居場所づくり (憩いの場サロン) コロナ禍で自粛が増え、孤立から孤独にならないように、人との繋がりをもって、一人ではないと思ってもらえる場所となっています。</p> <p>○行政サービスへの橋渡し</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ホームレスで住居を必要としている人を保護管理課連携 ●困っている人を社協さんやサポートセンターさんへ連携 ●食べ物を必要としている人をゆいまーるの会へ連携 (地域包括センターさん) <p>○生活困窮者への食料品の無料配布 牧志公園内 <u>毎週 火曜日 (女性) 金曜日 (男性)</u> (予備日土曜日) 朝 9時30分～10時30分 利用者 <u>130名～140名</u> <u>高齢者、ホームレス、障害者、若年生活困窮者 他</u> (年齢や国籍問わず提供)</p>
----------------------------------	---

<p>6 実現性・感染症 対策</p>	<p>【緊急事態宣言等の発令時における活動の取り組み】 緊急事態宣言下においては自粛が必要であるが、コロナ禍でさらに困っている人が増えている現状があり、コロナ対策をしっかりして、活動継続する必要がある。</p> <p>【コロナウイルス感染症対策】 <スタッフ、ボランティア></p> <ul style="list-style-type: none"> ○サロンの旗を掲げ、サロン活動している事をアピールする ○スタッフ、ボランティアはマスク、フェイスマスクかメガネ、手袋、消毒をして待機（緑色の帽子で統一） ○動物のフンの排除をする（動物からの感染対策） ○コロナ対策（手袋、マスク）をして商品配列をする ○朝礼時、健康状態を確認の上活動 ○「おはようございます」と市民に元気に声かけをし、離れてアンケートや会話を心がける ○活動終了後、公園内の確認ゴミ収集（清掃員への感染対策） <p><那覇市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ○那覇市民は牧志公園をよごさないよう注意喚起を聞く ○那覇市民はコロナ対策についての事前注意喚起を聞く ○那覇市民はスタッフから整理番号を受け取り離れて待機 ○那覇市民は買い物袋持参（エコの取り組み） ○那覇市民はマスクを厳守（持ってない人へはマスク提供） ○10名ずつ、1m以上離れて並びアンケートに答える ○那覇市民は手の消毒をして、食料品を受け取る （拒否者は受け取りを断る） ○那覇市民の食料品受け取りは2名にする <p><活動内容は別紙参照></p>
-------------------------	--

7 波及効果・今後の展開	<p>○いろいろな方面の方と協力し、活動を継続できるよう努力する。</p> <p>○地域で助け合うことを意識し、ゆいまーる活動が広がる</p> <p>「今後の展開・予定」</p> <p>○生活と健康を守る会那覇市</p> <p style="padding-left: 40px;">●生活困窮者の生活相談の連携相談了解を得る</p> <p>○社団法人ウパナ ●生活困窮者、生活保護受給者、 連帯保証人について連携相談了解を得る</p>	
8 その他の反省点など	<p>○食料品購入資金が必要になり事業計画が変更となった事 (利用者の増加 月 100 名以上)</p> <p>○雨天時の対応が不十分、アメダスの確認不足であった事 (活動途中で雨が降り出し困った)</p> <p>○飲酒の禁止の徹底が不十分であった事 (ゆいまーる活動終了後や活動日以外の飲酒)</p> <p>○困っている事の相談窓口が作れなかった事 (サポートセンターの案内のみ実施)</p>	
9 スケジュール (なるべく詳細に記入してください。予定でかまいません)	時期	内容 (場所・参加対象・人数など)
	7 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上
	8 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上
	9 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上 牧志公園内使用許可申請 10 月～12 月
	10 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上
	11 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上
	12 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上 牧志公園内使用許可申請 令和 4 年 1 月～3 月 クリスマスイベント開催
	令和 4 年 1 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上 お正月イベント開催
	2 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上
	3 月	生活困窮者支援 牧志公園内 500 名以上

10 事業実施に関して協働（連携）した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。）、協働の内容について記入してください。

行政との協働（☑企画に協力 □資金提供 □告知などの協力

□その他（ ）

他団体との協働（☑企画に協力 □資金提供 □告知などの協力

□その他（ ）

□ 無し

協働の内容

<食料品支援>

○那覇市社会福祉協議会

毎週2回（月曜日、木曜日）バナナの支援を受ける

○おきなわ子ども未来ランチサポート

毎週2回（月曜日、水曜日）食料品の支援を受ける

<行政との連携>

○那覇市公園管理課 ●牧志公園内利用許可を受ける

○なは市民活動支援センター

●チャレンジ助成支援を受ける

●ボランティアマッチングにて協力者を募る

○地域包括支援センター

●生活困窮者を、ゆいまーるの会へ案内、

●公園利用者の独居生活困窮者の見守りの相談

○就職・生活支援パーソナルサポートセンター

●公園利用者へ電話番号などの提供や告知

○保護管理課

●公園利用者で困っている人を、社会福祉協議会を通して連携

<他団体との協働>

○宮城ファンド 公園での炊き出しを協力実行

○ヘルプオキ（沖縄生まれの国際ボランティアグループ）

●2ヶ月に一回食料品の支援を受ける

●クリスマスには、週2回来園、食料品の配布実行

○ニーズプランニング（合）

●マスクを無償提供 200個×4回 800個

今後も支援協方可

- 沖縄県婦人連合会 ●生理用品の支援を受ける 24個入り4箱
- 女性を元気にする会 ●食料品の支援を受ける。
- 共育ステーションつむぎ ●公園に来る子ども世帯の
赤ちゃんのミルクの支援を受ける
- 那覇市寄り添い支援員 ●公園に来る子ども(小、中学生)のいる
困窮世帯への連携をする